

はしがき

序 章 日本の労働市場を概観する	I
1 労働市場とは何か	1
2 労働供給と労働需要	3
3 日本の労働力	9
4 産業・職業構造の変化	13
5 労働市場を読み解くために：統計データや事例調査の利用	15
第1章 正社員の働き方	20
1 日本的雇用慣行とは何か	20
2 日本的雇用慣行の中核と周辺	25
3 「能力主義管理」と正社員の働き方	26
4 日本的雇用システムの転換：95年「新時代の『日本の経営』」	31
5 「自社型雇用システム」の確立と正社員の少数精鋭化	33
第2章 賃 金	38
1 「賃金」とはなにか	38
2 賃金はどのように決まるか	42
3 賃金はどのように上がるか	45
4 日本の労働市場で賃金はどのように分布しているか	49
5 これからの賃金に大切なこと	54
第3章 多様化するキャリアと人材育成	59
1 非自明化する「終身雇用」とスキル形成の場	59
2 間断のない移行と新卒一括採用	60

- 3 企業内教育訓練と知的熟練 61
- 4 多様化する能力開発の場 66
- 5 企業にとっての企業外人材育成 71
- 6 多様化する人材育成を捉える上での課題 73

第4章 労働時間に関する法制度 76

- 1 原則的な労働時間規制 76
- 2 時間外休日労働と36協定 82
- 3 労働時間制度から外れる人たち 85
- 4 労災保険制度と過労死 86
- 5 労働時間管理の重要性 92

第5章 女性の働き方とワーク・ライフ・バランス 93

- 1 女性の働き方はどう変わったか：労働市場の概観 93
- 2 働き方の男女格差の現状 95
- 3 男女間格差の背景：性別職務分離と統計的差別 98
- 4 男女間格差の背景：性別役割分業とワーク・ライフ・バランス 104
- 5 すべての働き手が「活躍」する社会を実現するために 109

第6章 中高年・高齢者の雇用 114

- 1 中高年の雇用 114
- 2 高齢者の就業と健康 119
- 3 定年制度 122
- 4 公的年金制度と連動する引退年齢 127

第7章 非正規雇用の量的拡大と基幹化 132

- 1 企業はなぜ「非正規」で雇用するのか 132
- 2 「1960年代型日本システム」の労働者像と非正規雇用 137
- 3 パートタイマーの基幹労働力化と職務価値の同一性 141
- 4 間接雇用における労働問題 143

5	コロナ禍以降における非正規労働問題	146
第8章	外国人労働者と労働市場・雇用システム	149
1	日本における外国人労働の概況	149
2	外国人労働と産業構造：移民労働の変遷	152
3	在留資格の変遷と労働市場需給システム	156
4	移民労働が日本の雇用に与える影響	162
第9章	統計データからみる自営業層の姿	167
1	なぜ労働市場における自営業の役割に注目するのか	167
2	自営業層の見方・測り方	169
3	記述に用いる資料：公的統計と社会調査データ	173
4	公的統計からみる自営業層の趨勢	174
5	自営業の諸側面：就業条件・仕事の形式・社会保障	176
6	今後の労働市場における自営業層の役割と課題	181
第10章	労働組合と労使関係	185
1	労働組合の役割・機能	185
2	日本の労働組合の特徴	188
3	労働組合の組織率の変遷	193
4	非正規労働者の組織化とユニオン運動	196
5	労働市場の規制	198
第11章	多様な労働者と法制度	202
1	労働法の意義	202
2	高齢者雇用のための法	203
3	障害者雇用のための法	204
4	非正規労働者のための法	207
5	育児・介護をする労働者のための法	210
6	失業した人のための法	212

7 ハラスメント対策のための法 214

8 労働者の多様化に向けて 219

終章 働き方の未来 220

1 コロナ禍で見た日本の働き方の問題点 220

2 雇用システムと働き方の未来 224

3 少子高齢化と働き方の未来 228

4 AIなどの技術と働き方の未来 230

索引.....235